

さくら保育園 危機管理マニュアル基本方針と対策

〔基本方針〕

- 施設の実態を基に子供の安全を確保するためのマニュアルを作成する。
- 段階ごとの対応方針を明確にする
 - ・ 潜在的な危険として何があるのかを明らかにし、予防策をつくる。
 - ・ 危険を回避する、あるいは遭遇したときの影響を最小限に食い止める方策を採る。
 - ・ 事後措置として、心のケア等のフォローをする。
- 各関係機関・地域・警察等との連携を図る。
 - ・ 連絡網の整備、迅速かつ正確な情報伝達。
- 高い危機意識を常に持つ
 - ・ 職員、保護者間等で常に危機意識を持つ。
- 開かれた施設づくりの推進により、地域や関係団体等の情報収集や支援協力を依頼する。

〔危機管理対策〕

- ① 職員の共通理解と連携推進
 - ・ 会議の議題にあげ、職員自身の意識の啓発を図り、未然防止対策を講じる。
 - ・ 職員の役割分担、連携対策を明確にしておく。
- ② 来訪者への対応
 - ・ 出入り口を限定し、一定の時間以外は施錠する。
 - ・ 来訪者への声かけや身元確認、用事等の確認を確実に実行する。
 - ・ 不審者から目を離さず、刺激しないように園内に侵入することを断る。
 - ・ 家庭内事情有り幼児については職員間の共通理解を図っておき、引渡しの際は充分気をつける。
- ③ 施設設備の点検整備
 - ・ フェンス、外灯、施錠等の点検整備を定期的を実施する。
 - ・ ベル、火災報知機等の点検整備を定期的を実施する。
 - ・ 死角となる箇所の本立や物の点検や撤去を実施する。
 - ・ 職員が常時、外部からの出入り箇所を見渡せるように配慮する。
 - ・ 午睡中や、部屋を空にするときなど、必要に応じて速やかに施錠をする。

④ 安全管理の徹底

- ・危機管理マニュアルを作成し、職員に対する安全管理の指導・訓練を実施する。
- ・戸外遊びの際、幼児の行動や周りにいる不審人物の把握を怠らない。
- ・不審者発見時は、マニュアルに従い迅速に警察へ通報する。
- ・自由な遊び場での監視の仕方や、緊急時対応の訓練の実施
- ・不審電話への対応訓練（通報・連絡網等）

⑤ 幼児への対応

- ・登降園時送迎者を把握し、変更者の確認を徹底する。
- ・幼児の生活や行動、危険な場所・時間帯を把握する。
- ・定期的に避難訓練及び防犯訓練を実施する。

⑥ 保護者・地域・関係団体との連携

- ・登降園の際送迎する保護者は、子どもとしっかり手をつなぎ、交通ルールを守って歩き、必ず園の職員へ子どもを渡すようにする。
- ・保護者・地域住民、関係団体との連携を深める。
- ・保育園周辺の巡回、安全点検を行う。

⑦ 警察や消防署などの関係団体との連携

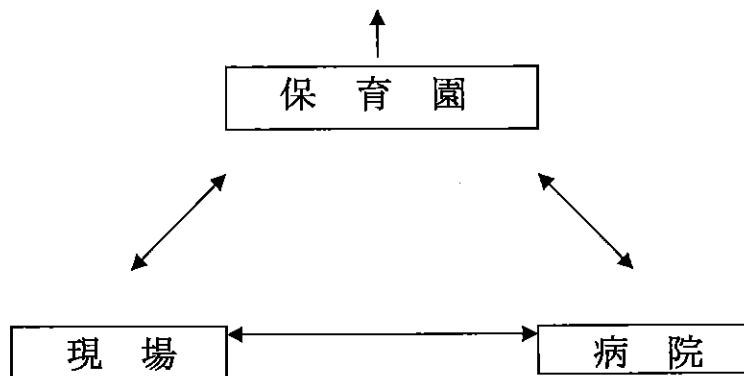
- ・役所等との連携体制の確立
- ・園周辺の巡回や安全確保の協力依頼
- ・警察や消防署による安全教室や防犯訓練の実施

事故発生時の対応

1 基本的な対応の3原則

- | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. | 人 | 命 | 尊 | 重 | | | | |
| 2. | ほ | う | ・ | れ | ん | ・ | そ | う |
| 3. | 3 | 極 | 体 | 制 | | | | |

指示・指令・情報把握の中枢



事実把握・調査・報告
(警察の実況検分、写真)

3 極体制

負傷の程度の確認報告
(担当医師に確認)

2 管理下における事故発生時の対応

(1) 救護活動

- | | |
|--|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">あわてない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1人で 処置しない</div> | <ul style="list-style-type: none">① 周りの園児をとおざけ、けがなどの箇所や程度など、傷病者の状況を把握する。② 傷病者はもとより、周囲のものにも精神的安定を与えるよう冷静に対応する。① 副園長や他の職員に連絡する。② その場で取れる応急処置があれば行う。 ・止血法 ・AED (人工呼吸 心臓マッサージ含む) |
|--|---|

(2) 報告

- ・ 園長への連絡・・・・・・その後は指示を受けて行動する。

(3) 判断

- ・ 園長が判断指示する。(不在時は副園長)
負傷者の病院への移送は救急車、または保護者の車にて行う。
救急車の場合は同乗して付き添い、病院で手当てを受ける際には、事故の発生状況やその後の処置などを詳しく説明する。
- ・ 病院などへの搬送後、事故現場を離れる際は、他の幼児への配慮と保育士間の連携を図る。

(4) 処置

①保育園で処置及び病院に搬送する場合

- ア、**応急処置**をする…担任または副園長等
- イ、**家庭連絡**をする…担任
 - ・ 事故内容と処置、子どもの状態を伝える。
 - ・ 病院の受診が必要と思われる場合は保護者の迎えをお願いし、連れて行ってもらふ。
- ウ、**経過観察**をする…担任、園長、副園長
- エ、**事後処理**…園長、副園長、全職員
 - ・ 事故の原因分析と再発防止対策を講じる。
 - ・ 全職員への再発防止指導
 - ・ 必要に応じて家庭訪問をする

②救急車による病院搬送の場合

- ア、**応急処置**をすると同時に**救急車の要請**…担任・園長・副園長等
- イ、**家庭連絡**をする…担任
 - ・ 事故内容と処置、子どもの状態、搬送先の病院を伝える。
- ウ、**病院へ搬送**
 - ・ 付き添い：担任又は副園長
 - ・ 報告：診察した医師名、時間、診断結果、処置、今後の見通しについて園長へ報告する。
 - ・ 付き添いは保護者へ傷病者を引き渡し、園長の指示があるまで傷病者に付き添い看護にあたる。
- エ、**関係機関への報告**
 - ・ 保育課に第一報を入れる。課長の指示に従って他の関係機関に報告。
- オ、**事後処理**(園長、副園長、担任)
 - ・ 事故現場の確認、調査(必要に応じて写真を撮る)
 - ・ 現場にいた園児などから事情聴取をする。

- ・事故の概況を文章化 第二報

事故に関する報告は、事実に基づいて正確かつ詳細に行い、推測をまじえた表現にならないようにする。

- ・家庭訪問

負傷に関与した園児がいたら、その保護者に説明し、必要なら謝罪を要請する。

- ・職員会議、緊急打ち合わせにより、事故の概要、再発防止について全職員に徹底する。

カ、事後の対応

- ・負傷児童の経過観察・看護（担任、副園長）
- ・事故報告書の作成（園長、副園長、担任） 第三報
- ・園児、保護者会に対しての説明
- ・災害給付金の支給手続き（園長、副園長、担任）

キ、保健・安全指導の検討（副園長・保健担当）

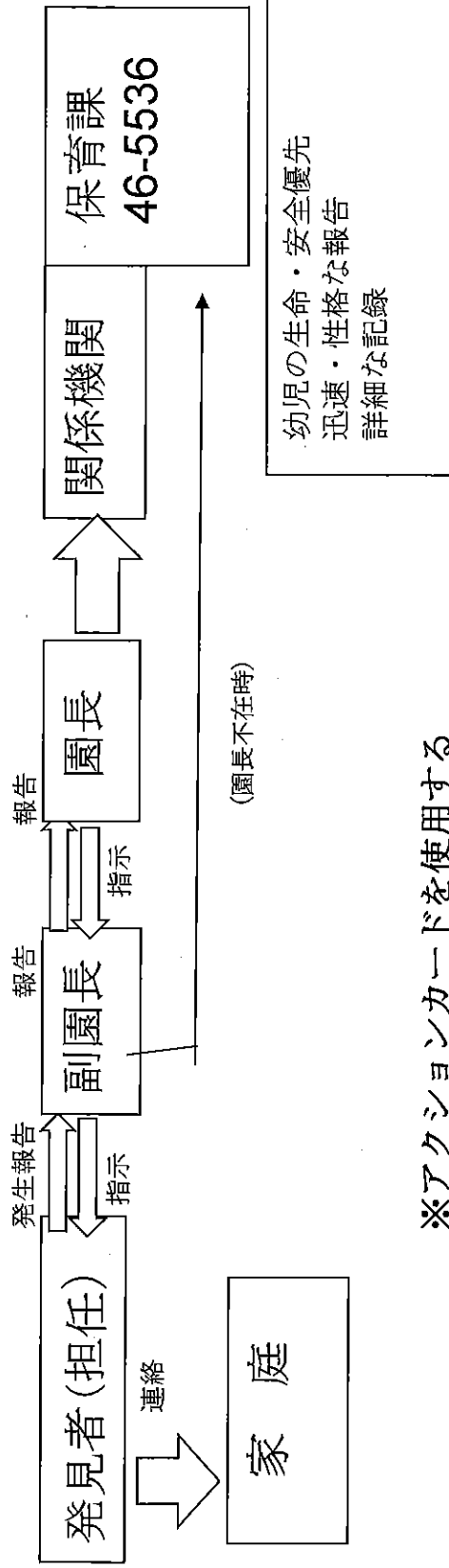
- ・事故原因分析と再発防止策
- ・全職員による再発防止指導

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・福島整形外科 ☎ 62-0805 ・菅間記念病院 ☎ 62-0733 ・黒磯病院（内科・外科） ☎ 62-0961 | <ul style="list-style-type: none"> ・大島内科小児科（嘱託医） ☎ 62-0106 伊野田眼科クリニック（嘱託医） ☎ 65-3787 マジマ歯科医院（嘱託医） ☎ 63-8833 |
|--|--|

～事後対応～

- | | |
|------|--|
| 発生直後 | <ul style="list-style-type: none"> ・受傷の状況等を的確に確認。その際、専門家を含め複数名で確認。 ・上司に迅速に報告し、応急対応の指示をあおぐ。緊急時は救急車要請。 ・保護者への連絡 |
| 事後管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故内容を記録。対策会議の開催と改善策の検討・実施。 ・保護者にあらためて事実を伝え、謝罪を述べ、改善策を伝える。 |

事故対応マニュアル 1 幼児の事故（けが・病気）



※アクションカードを使用する

1. 発見者（担任）は副園長に事故発生報告をし、指示を受けるとともに家庭に連絡をする。
2. 副園長は応急処置をするとともに園長に報告をし、病院や救急車の手配をする。
3. 園長は関係機関に報告し指示を受ける。
4. 園長が不在のときは、園長の指示を受けながら副園長がかわって行う。
5. 園長・副園長の両方とも不在のときは、出張先または自宅に連絡をとり、指示を受けて対応する。
(ただし、急を要する場合は、幼児の処置を優先した上で、管理職者に報告し指示を受ける)

通報システム

救急車要請（病気・怪我）

おちついて、ゆっくり、はっきりと話をして、指示に従いましょう

| | | |
|---------|---------------------------------------|--|
| あわてないで☎ | A 火事ですか、救急ですか ? | Q 救急です |
| くわしく住所 | A 住所はどこですか ? | 那須塩原市桜町1-9番地、さくら保育園です。 |
| 近くにある目標 | A 近くに何がありますか ? | いきいきふれあいセンターの隣、西側です。 (出先の時は近くの目印になる物を言う。) |
| 具体的に状態 | A 「病人ですか?」「けが人ですか?」 「どのような状態かですか?」 | 聞かれたら見たままの状態を伝える |
| 電話番号 | A あなたのお名前は ? | 通報者は○○です。☎は0287-62-0369 さくら保育園です。 |

応急処置の方法

1、外科的疾患の応急処置

| 負傷名 | 処置内容 |
|------|---|
| 切り傷 | <ul style="list-style-type: none">・傷口を水道水で洗い流し、異物を取り除く。・清潔なガーゼやハンカチ、シーツなどを傷口に当て、手のひらで圧迫し止血する。 |
| 刺し傷 | <ul style="list-style-type: none">・異物を除去し水道水で洗い流す。・錆びた鉄、ガラスが奥深く刺さったときには速やかに受診をする。 |
| 脱臼 | <ul style="list-style-type: none">・氷嚢を使用し、患部を冷やす。・患部が動かないように固定し、速やかに受診をする。 |
| 骨折 | <ul style="list-style-type: none">・骨折が疑われる場合には、副木をあて固定する。変形が認められても、整復せずに搬送する。・解放骨折の場合には、清潔なガーゼやシーツなどを用い止血し搬送する。 |
| 頭部打撲 | <ul style="list-style-type: none">・意識不明な場合 こぶや外傷のある場合は冷やし傷の手当てをする。（傷に目を奪われずに観察を継続する。） 頭部損傷は時間が経ってから現れることが多いので、軽症の打撲であっても保護者に連絡する。・意識のない場合 救急車の要請。気道確保、保温、安静に努める。 |
| 目異物 | <ul style="list-style-type: none">・水道水で洗い流し、まばたきをすることで異物の排出を促す。・薬物や刺激物の際には、水道水で洗い流し、直ちに受診をする。 |
| やけど | <ul style="list-style-type: none">・水道水などのきれいな流水で10～30分ほど冷やす。着衣がある場合は着衣ごと冷やす。・水ぶくれはつぶさず、広範囲の場合には患部を冷やしながら受診をする。 |
| 鼻血 | <ul style="list-style-type: none">・軽くうつむかせ、小鼻を中心に鼻全体を親指と人差し指で10分間ほどしっかり押さえる。・上を向かない宵にする。口にたまった血は飲み込ませずに吐き出させる。・額から鼻のあたりを氷嚢などで冷やす。 |

2、内科的疾患の処置

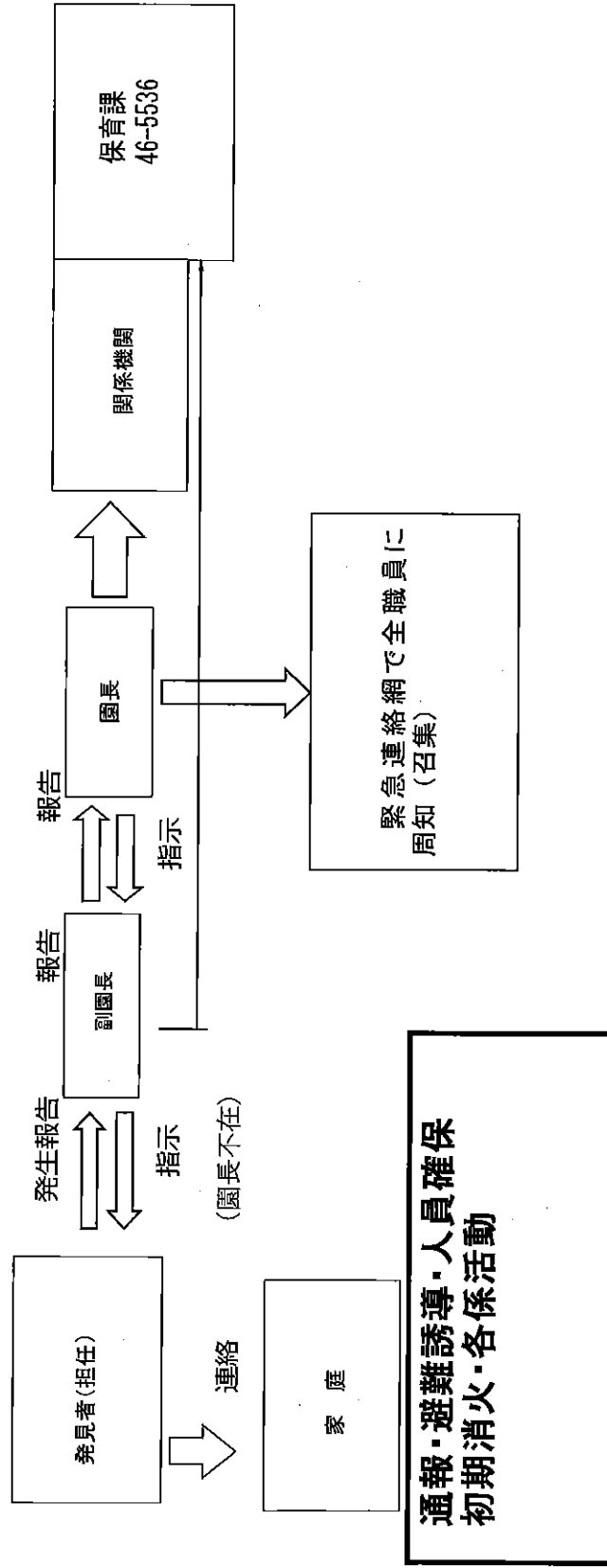
| 病状症状 | 処置内容 |
|-------|--|
| けいれん | <ul style="list-style-type: none">・吐いたものを飲み込まないように顔を横に向け安静にする。・保護者に連絡をし、救急車の要請。救急車が到着するまで記録をとる。・状況に応じて座薬を使用する。 |
| てんかん | <ul style="list-style-type: none">・発作時には記録をとり、見守る。保護者に連絡をし、必要に応じて救急車を要請する。・けいれんと同様に対応する。 |
| 熱中症 | <ul style="list-style-type: none">・涼しいところへ移動し、体を冷やす。衣服を緩め意識がある場合には水分を与える。・状況に応じて救急車を要請する。 |
| 貧血 | <ul style="list-style-type: none">・頭を低くして衣服を緩め、安静を保つ。保護者へ連絡し対応する。 |
| 呼吸症候群 | <ul style="list-style-type: none">・落ち着くこと、息を吐くことを促す。 |
| 紫斑病 | <ul style="list-style-type: none">・内出血のようすを確認する。・医師に指示に従い、腹痛や四肢の痛みなどの症状に留意し保育を行う。 |

☆保育園での応急処置の範囲

保育園は医療機関とは異なり、傷病・事故発生の際、これを救済し保護することが責務である。しかし、その範囲は応急処置または、緊急避難に限られる。

最終処置は医療機関となる。

事故対応マニュアル 2 火災発生の場合



※ 竜巻、突風、豪雨の時には、この基本をマニュアルとして落ち着いて行動する。

通報システム

消防車要請（火災）

| | | |
|---------------|--------------------|--|
| 消防署連絡 (火災) | おちついて・ゆっくり・はっきりと | |
| あわてないで☎ | Q 火事ですか？ 救急ですか？ | A 火事です |
| ↓ | ↓ | |
| くわしく住所 | 火災の場所は ？ | 那須塩原市さくら保育園 住所：桜町 1-9 (園外保育の場所) |
| ↓ | ↓ | |
| 具体的に状態 | 出火場所は ？ | 〇〇が燃えています。 ※火事の状況・風向き |
| ↓ | ↓ | |
| 近くにある目標 | 近くに目印は ？ | いきいきふれあいセンターの隣、西側 ※出先の時はその近くのことを伝える |
| ↓ | ↓ | |
| 電話番号 | あなたのお名前は ？ | 通報者は、〇〇です。 ※使っている携帯の番号を知らせる。 |

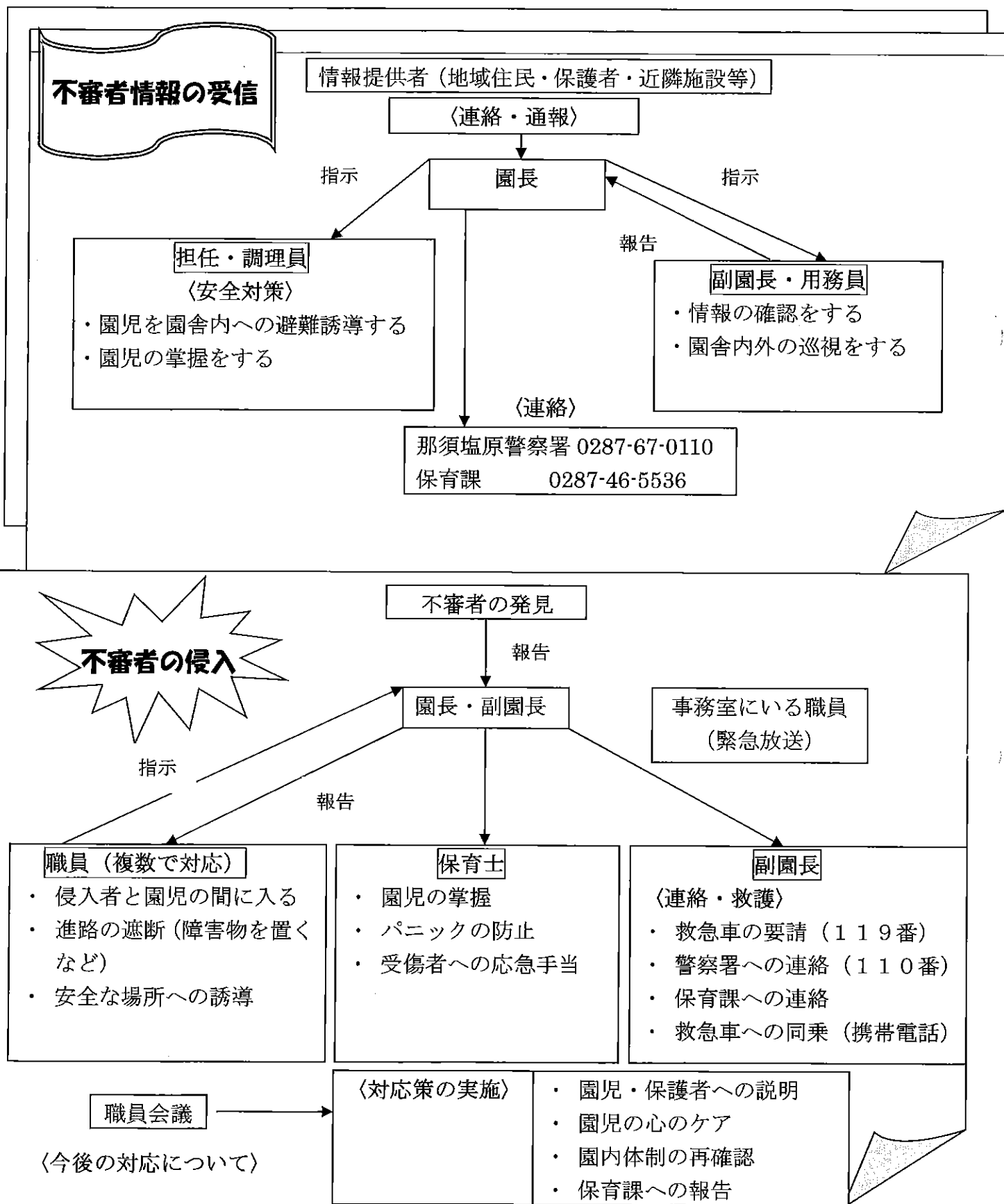
◎携帯電話からした場合は、その旨を伝える。

◎携帯電話などからの通報は、メイン電源を切らない。

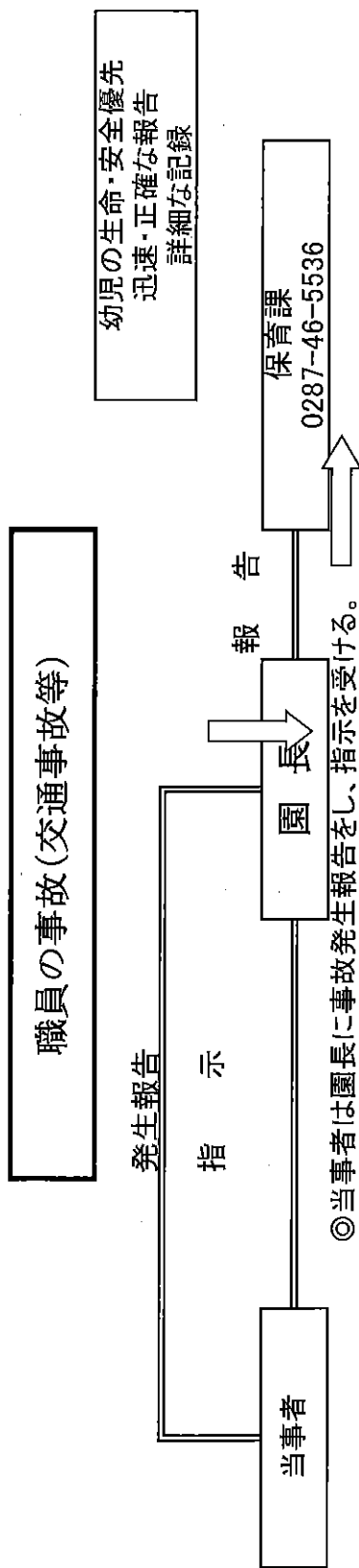
救急車要請
(けが・病気)

あわてないで・ゆっくり・はっきりと話をし、指示に従う。

事故対応マニュアル 3 (不審者侵入の場合)



事故対応マニュアル 4



園長は関係機関に報告をし、指示を受ける。

* 事故の場合は、以下の項目について、解決までの経過も含めてメモしておく。

○相手……車両番号・氏名・住所(電話番号)・年齢・職業・勤務先(電話番号)

○発生年月日と時刻・天候状況

○発生場所

○事故の種類(正面衝突、側面、追突、人身事故、スリップ等)

○被害・加害の内容……けがの状況、病院名

＜住所は免許証で確認を＞ 自賠責保険の会社名と証明書番号